

「ウェルネス・アクションつる」その4

あなたにとって健康のまちとは… (アンケート中間報告)

「あなたが普段生活している中で思う、健康なまちってどんなまちですか？」のアンケートの協力を2月末までお願いしています。11月末現在、203人の方々から「私にとっての健康」「都留市に対する私の夢」が寄せられました。その中の一部をご紹介します。

あなたにとって健康とは…？

1位 心身ともに健やかなこと

2位 幸福なこと

3位 家庭円満であること



「健康なまちづくり」を実現するためのあなたの夢は…？

禾生地区20代 妊婦さん

緑にあふれていて、水や空気はもちろんのこと、食べ物なども洗わずに食べられるような、安心感があることだと思います。



地区、年齢不明

・公園やYLO会館のロビーなど、子どもでも憩える場が、多いといいですね。また、児童館もあるといいですね。

・大学生と地域の人との交流の場や、市民が誰でも気軽に参加できるイベントが多いといいです。友達が増やせるような感じの、力を合わせる行事がいいですね。

・近所の人と「いってらっしゃい」「おかえりなさい」の声かけが自然に行われるまち。他県から引っ越してきた方にとっては、道行く人からのあいさつの声にも心がなごみます。

「ほがらかな都留市 スマイリー都留市」

・都留市はお祭りが多くみたいですが、どのように参加できるのか今ひとつわかりません。ここはひとつ「オープンマインド都留市」で引っ越してきた人もみんな仲良く参加できますように。

東桂地区30代 赤ちゃんのいるお母さん

子どももお年寄りも笑顔で語り合える場所があり、いつでも誰でも、気軽に集まれるまち。お年寄りから教わることは多いと思います。核家族化が進んでいる今だからこそ、多くの人とふれあうことで、人としての優しさや人に対する愛情を子ども達に伝えていきたい。

今の時代の子は、人の痛み・苦しみをわからずに成長してしまっているように思う。だから、いじめという社会的問題が多く、簡単に死を選択してしまう。私の学生時代にも、いじめはありましたが、今とは全く違うものです。いじめっ子から守ってくれる友達もいました。

人の痛みがわかるからこそ、人を守ることもできるのです。そんな理由で、多くの人とふれあい、語り合える場所があるまちが、健康のまちだと思います。

谷村地区70代 男性

・ボランティア活動が盛んなまち

・お互いに感謝の気持ちを持ち、信頼しあい明るく生活ができるまち、そして活気のあるまち

・病気になった時などに、心の支えになってくれる人が身近にいてほしい

・知らないまちに行き知らない人に「こんにちは」とあいさつされ、面食りました。人違いではなかったようです。こんなまちはすばらしいと感動しました。

・病弱な人でも幸福な人はいる。人を愛し、自分を愛す。自然を愛し、自然に愛される。健康は幸福の先導者であることは間違いないと思う。このまちに住み、こんな夢を大きく育てていきたい。

2000年は夢実現に向かって

都留市民も行政もみんなで夢を語り、確認し、次のステップ2000年は、知恵を出し合い、力を出し合い、夢実現のために進みましょう。一人の小さな力がたくさん集まり、大きな力となっていく。そんな、飛躍の年になりますように。

